高齢者の自立を支援する生活機能評価表研修

『生活機能評価表』を"共通言語"として活用するために

―― ケアマネジャーとリハビリ専門職が共通認識を持って利用者を支えるための研修 ――

● このようなことはありませんか？



「○」と「△」の
判断に迷う



ケアマネジャーと
専門職で評価に
少し差ができる



評価結果を
ケアプランに十分
活かせていない



初回担当者会で
目標設定が
曖昧になる

◎ この研修が目指すこと（ねらい）

ケアマネジャーとリハビリ専門職が互いの専門性を尊重しながら、生活機能評価表を共通言語として活用することを目指します。対象者の生活課題や強みを多職種で共有することで、「これなら３か月頑張れる」と思える目標設定につなげます。

◎ 生活機能評価表とは

生活機能評価表は、「○」「△」「×」を記入するためだけの様式ではありません。対象者の「できること」「難しいこと」を多職種が共通の視点で理解し、本人らしい生活を一緒に考えるコミュニケーションツールです。

◎ 本研修で学ぶこと

「○・△・×を判断するときの考え方」「ADL・IADL を評価する視点」「ケアマネジャーとリハ職で共有したい評価のポイント」など…

開催概要

- 日 時 ： 令和８年９月 ８日(火) 18:30 ～ 20:30 （開場 18:00）
- 場 所 ： 高知市保健福祉センター ３階 大会議室 （高知市塩田町 18-10）
- 対 象 ： 地域ケア会議専門職団体、介護支援専門員、訪問型サービスC・地域リハビリテーション活動支援事業受託事業所のリハスタッフ、及び受託希望事業所リハスタッフ、地域包括支援センター職員、基幹型地域包括支援センター(ケアプランセンター含む)職員
- 定 員 ： 100 人
- 申込み ： 裏面のQRコードから
- 締切り ： 令和８年８月 31 日(月)

【主催】高知市 基幹型地域包括支援センター　TEL088-823-9121

講師

一般社団法人 高知県作業療法士会 地域包括総合事業部 担当理事 杉本 徹 氏

（所属事業所：医療法人 恕泉会 リハビリテーション病院 すこやかな杜）

医療法人恕泉会 内田脳神経外科 理学療法士 野々下 有希 氏

【講師からのメッセージ】



「生活機能評価表は、ケアマネジャーさんが利用者さんの生活を理解し、支援の方向性を考えるための大切なアセスメントツールです。一方で、「この場合は〇なのか△なのか」「どこまでを自立と考えるのか」と迷う場面も少なくありません。本研修では、「正しい評価」をお伝えするのではなく、生活機能評価表を共通言語として、多職種が評価の根拠を共有するための考え方をお伝えしたいと思います。ケアマネジャーさんには生活全体を捉える専門性があり、リハビリ専門職には活動や動作を分析する専門性があります。それぞれの視点を持ち寄ることで、対象者さんの望む生活に近づく支援につながります。
一緒に考えていきましょう。」



参加申込 QR コード

https://forms.gle/xw2Vqug9eeGgDyLt9